



2018年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月31日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営本部IR広報部長 (氏名) 根本 洋

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第3四半期の連結業績(2018年1月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第3四半期	109,537	2.8	11,841	9.9	12,664	8.2	8,963	9.1
2017年12月期第3四半期	106,580	6.7	13,146	12.1	13,790	14.1	9,862	25.1

(注) 包括利益 2018年12月期第3四半期 7,140百万円 (43.9%) 2017年12月期第3四半期 12,719百万円 (197.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第3四半期	68.09	
2017年12月期第3四半期	74.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第3四半期	241,241	190,909	77.1
2017年12月期	239,338	187,487	76.3

(参考) 自己資本 2018年12月期第3四半期 186,043百万円 2017年12月期 182,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期		13.00		13.00	26.00
2018年12月期		14.00			
2018年12月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日～2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	148,000	2.3	16,300	6.6	17,400	5.9	12,800	0.9	97.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年12月期3Q	131,996,299 株	2017年12月期	131,996,299 株
期末自己株式数	2018年12月期3Q	365,372 株	2017年12月期	361,663 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年12月期3Q	131,632,836 株	2017年12月期3Q	131,640,457 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間（2018年1月1日から2018年9月30日まで）の業績は、売上高は1,095億3千7百万円（前年同期比2.8%増収）、営業利益は118億4千1百万円（前年同期比9.9%減益）、経常利益は126億6千4百万円（前年同期比8.2%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は89億6千3百万円（前年同期比9.1%減益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

① 基幹化学品事業

電解製品は、販売数量が堅調に推移するとともにカセイソーダの値上げが寄与し増収となりました。アクリルモノマー製品は、シンガポール子会社において一部製品の生産停止の影響などから販売数量は減少しましたが、原燃料価格上昇に伴う販売価格の是正を行い増収となりました。工業用ガスは、好調な需要が続く増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は506億9千3百万円（前年同期比3.6%増収）となりました。

営業利益は、アクリルモノマー製品の減販や国内における大型定修の影響などから減益となりましたが、カセイソーダや工業用ガスの増益により、45億2千8百万円（前年同期比5.0%増益）となりました。

② ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、粘着剤や二次電池向けなどに使用される高付加価値製品の販売が拡大し増収となりました。アクリルオリゴマーは、国内外の市場において販売が好調に推移し増収となりました。高分子凝集剤は、販売数量が堅調に推移したほか販売価格の是正を進めたことなどから増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は218億3百万円（前年同期比4.6%増収）となりました。

営業利益は、原燃料価格の高騰による変動費上昇に加えアクリルポリマーの増産対応やタイ子会社での操業開始関連の費用が増加したことなどから、23億7千3百万円（前年同期比31.7%減益）となりました。

③ 接着材料事業

瞬間接着剤は、コンビニエンスストア向けや工業用途向けなどの国内販売は堅調に推移しましたが、海外市場での販売減少の影響により減収となりました。機能性接着剤は、高機能情報端末などに使用される反応型接着剤の販売が低調に推移し減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は88億2千2百万円（前年同期比3.1%減収）となりました。

営業利益は、海外市場における瞬間接着剤や電子材料向け機能性接着剤の減販の影響などから、19億3千2百万円（前年同期比9.7%減益）となりました。

④ 高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、半導体向けの旺盛な需要が継続し液化塩化水素などの高純度無機製品の販売好調により増収となりました。無機機能材料は、機能性衣料などに使用される消臭剤の販売は堅調でしたが、無機抗菌剤の輸出が減少したことなどから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は60億2千1百万円（前年同期比5.8%増収）となりました。

営業利益は、高純度無機製品の増販が寄与し、19億8百万円（前年同期比10.0%増益）となりました。

⑤ 樹脂加工製品事業

管工機材製品は、住宅着工件数の減少や天候不順による工事遅延の影響などから減収となりました。建材・土木製品は、受注物件数の増加などから増収となりました。ライフサポート製品は、新製品の販売が寄与したことなどから増収となりました。エラストマーコンパウンドは、ほぼ前年並みの売上となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は197億2千1百万円（前年同期比1.1%増収）となりました。

営業利益は、ライフサポート製品や建材・土木製品は増益となりましたが、管工機材製品が原材料費や用役費の高騰などから採算が悪化し、9億4千万円（前年同期比26.6%減益）となりました。

⑥ その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は24億7千3百万円（前年同期比1.7%減収）、営業利益は1億4千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

資産合計は、設備投資に伴い「機械装置及び運搬具」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ19億2百万円、0.8%増加し、2,412億4千1百万円となりました。

負債合計は、法人税等の支払により「未払法人税等」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ15億1千9百万円、2.9%減少し、503億3千1百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ34億2千1百万円、1.8%増加し、1,909億9百万円となり、自己資本比率は77.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において当社グループが判断したものです。

当第3四半期連結累計期間の業績は、高騰する原燃料価格や物流費上昇に対応しカセイソーダやアクリルモノマーなど汎用製品の価格是正を進めたことなどから増収となりました。一方、高付加価値製品の価格是正の遅れや当社グループの積極的な設備投資、設備更新による固定費の増加などが利益を圧迫し、営業利益は減益となりました。

今後の世界経済は、国内経済は引き続き底堅く推移すると期待されますが、米国と中国間の貿易戦争激化や原油をはじめとした資源価格の変動など先行きはより一層不透明感が増すものと懸念されます。

このような状況の中、コスト上昇分への対応については、引き続き省力化や合理化努力を強化するとともに価格是正を推進し、また、新規設備などについては速やかに稼働率を高めることで早期の収益貢献を図ってまいります。なお、2018年12月期通期の連結業績は前回発表（2018年2月8日）を下回るものと予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,636	29,525
受取手形及び売掛金	42,583	42,979
有価証券	47,000	47,000
たな卸資産	16,005	16,690
その他	2,083	1,949
貸倒引当金	△35	△36
流動資産合計	137,273	138,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,579	20,380
機械装置及び運搬具（純額）	20,762	22,683
土地	17,210	17,256
その他（純額）	6,110	6,433
有形固定資産合計	62,663	66,754
無形固定資産		
	505	571
投資その他の資産		
投資有価証券	35,238	31,820
退職給付に係る資産	1,934	2,087
その他	1,738	1,913
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	38,896	35,807
固定資産合計	102,064	103,132
資産合計	239,338	241,241

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,149	15,276
短期借入金	6,503	2,503
未払法人税等	2,124	1,180
引当金	17	810
その他	13,238	12,705
流動負債合計	37,032	32,476
固定負債		
長期借入金	5,647	9,268
退職給付に係る負債	162	168
その他	9,008	8,418
固定負債合計	14,818	17,855
負債合計	51,850	50,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,498	16,499
利益剰余金	130,488	135,897
自己株式	△289	△294
株主資本合計	167,584	172,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,082	11,117
為替換算調整勘定	1,884	1,833
退職給付に係る調整累計額	73	104
その他の包括利益累計額合計	15,040	13,055
非支配株主持分	4,862	4,866
純資産合計	187,487	190,909
負債純資産合計	239,338	241,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)
売上高	106,580	109,537
売上原価	75,047	78,712
売上総利益	31,532	30,824
販売費及び一般管理費	18,385	18,982
営業利益	13,146	11,841
営業外収益		
受取利息	57	67
受取配当金	473	478
持分法による投資利益	269	196
為替差益	—	22
固定資産賃貸料	97	190
その他	121	98
営業外収益合計	1,021	1,054
営業外費用		
支払利息	72	68
為替差損	65	—
環境整備費	129	72
遊休設備費	50	47
その他	57	43
営業外費用合計	376	232
経常利益	13,790	12,664
特別利益		
固定資産売却益	369	5
補助金収入	36	323
投資有価証券売却益	446	3
特別利益合計	852	332
特別損失		
固定資産処分損	296	79
関係会社株式売却損	—	5
特別損失合計	296	85
税金等調整前四半期純利益	14,346	12,912
法人税等	4,200	3,760
四半期純利益	10,145	9,151
非支配株主に帰属する四半期純利益	283	188
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,862	8,963

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	10,145	9,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,586	△1,967
為替換算調整勘定	△89	△75
退職給付に係る調整額	76	31
その他の包括利益合計	2,573	△2,010
四半期包括利益	12,719	7,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,417	6,977
非支配株主に係る四半期包括利益	302	162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	48,922	20,837	9,103	5,692	19,508	104,064	2,515	106,580	—	106,580
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,399	959	401	29	9	3,799	5,293	9,093	△9,093	—
計	51,322	21,796	9,505	5,721	19,518	107,864	7,809	115,673	△9,093	106,580
セグメント利益	4,313	3,473	2,139	1,735	1,281	12,943	196	13,139	6	13,146

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	50,693	21,803	8,822	6,021	19,721	107,063	2,473	109,537	—	109,537
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,801	921	140	37	16	3,917	2,956	6,873	△6,873	—
計	53,495	22,725	8,962	6,059	19,737	110,981	5,429	116,410	△6,873	109,537
セグメント利益	4,528	2,373	1,932	1,908	940	11,682	145	11,828	13	11,841

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。